

# 活用効果評価結果

平成30年度

九州地方整備局 / 新技術活用評価会議

開発目標		省人化、経済性の向上、作業環境の向上、品質の向上																																																	
NETIS 情報	新技術登録番号	OKK-160001-VE	区分	材料	有用な技術の位置づけ	活用促進技術																																													
	分類	港湾・港湾海岸・空港 - 消波工 - 消波ブロック工 - 消波ブロック製作																																																	
	新技術名	超微粒子含浸性コンクリート養生剤(サンマテラークアバンク) (ナノシリカ粒子の含浸により初期コンクリート水分の蒸発を防ぎ、ひび割れ低減、中性化の低減及び経済性の向上に貢献する。)																																																	
	比較する従来技術(従来工法)	散水・シート養生による湿潤養生																																																	
	新技術の概要及び特徴	本材料は、超微粒子成分が含浸する塗布型養生剤であり、従来の散水・シート養生に比べ、脱型直後の塗布によりコンクリート内部へ速やかに含浸し不溶性で緻密な結晶組織を形成することで水分逸散を抑えることが可能となり、養生作業の短縮、品質向上に寄与する。																																																	
活用効果評価	所見	<p>【優れていた所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・散水・シート被覆にかかる現場作業を省くことができ、噴霧器等による1回塗布で作業が完了することから経済性・工程・施工性に優れる。</li> <li>・湿潤状態を確保することでヘアークラック等の発生が抑制でき、表面の見栄えも良く品質が向上する。</li> <li>・散水車やホース等を使用する必要が無く、仮設足場上での作業も減少することから安全性に優れる。</li> </ul> <p>【劣っていた所】</p> <p>特記事項なし</p>																																																	
活用効果評価	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	<p>当該技術は、追跡調査や評価項目の見直しは不要であり、比較する従来技術も妥当である。また、今後も評価結果の変動は小さいと考えられることから、継続調査の必要性はない。よって、情報種別記号「-VE」とする。</p>																																																	
活用効果評価	留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水溶性であることから、降雨時は使用できない。</li> <li>・希釈水には規定量の浄水を使用し、十分にかく拌して均質にする。</li> <li>・同種の養生剤もあるため、それぞれの効果やコスト等を確認したうえで選定のこと。</li> </ul>																																																	
活用効果評価	当該技術における改良点及び要望	特記事項なし																																																	
活用効果調査結果	対象工事	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>平成28年度 津松区港津地区(阿瀬浦・御殿場)1-1工区堤防(改良)本体工事</td> <td>中部地方整備局</td> <td>(従来技術:散水・シート養生による湿潤養生)</td> <td>施工者希望型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>境港外港中野地区岸壁(-12m)築造工事</td> <td>中国地方整備局</td> <td>(従来技術:コンクリート養生マット(散水湿潤養生))</td> <td>施工者希望型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>那覇港(新港ふ頭地区)岸壁(-13.0m)築造工事</td> <td>沖縄総合事務局</td> <td>(従来技術:散水・シート養生による湿潤養生)</td> <td>施工者希望型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>那覇港(新港ふ頭地区)防波堤(新港第一)(改良)築造工事</td> <td>沖縄総合事務局</td> <td>(従来技術:散水・シート養生による湿潤養生)</td> <td>施工者希望型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>那覇港(新港ふ頭地区)岸壁(-15.0m)(改良)ケーソン工事</td> <td>沖縄総合事務局</td> <td>(従来技術:散水・シート養生による湿潤養生)</td> <td>施工者希望型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>平成28年度恩納南BP1工区改築(その3)工事</td> <td>沖縄総合事務局</td> <td>(従来技術:散水・シート養生による湿潤養生)</td> <td>施工者希望型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>平成28年度恩納南BP1工区橋梁上部工事</td> <td>沖縄総合事務局</td> <td>(従来技術:被膜性養生材)</td> <td>施工者希望型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>平成28年度 下田港防波堤築造工事</td> <td>中部地方整備局</td> <td>(従来技術:散水・養生シートによる湿潤養生)</td> <td>施工者希望型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>境港外港竹内南地区岸壁(-10m)築造工事(その2)</td> <td>中国地方整備局</td> <td>(従来技術:散水及び養生マット)</td> <td>施工者希望型(契約後提案)</td> </tr> </table>					1	平成28年度 津松区港津地区(阿瀬浦・御殿場)1-1工区堤防(改良)本体工事	中部地方整備局	(従来技術:散水・シート養生による湿潤養生)	施工者希望型(契約後提案)	2	境港外港中野地区岸壁(-12m)築造工事	中国地方整備局	(従来技術:コンクリート養生マット(散水湿潤養生))	施工者希望型(契約後提案)	3	那覇港(新港ふ頭地区)岸壁(-13.0m)築造工事	沖縄総合事務局	(従来技術:散水・シート養生による湿潤養生)	施工者希望型(契約後提案)	4	那覇港(新港ふ頭地区)防波堤(新港第一)(改良)築造工事	沖縄総合事務局	(従来技術:散水・シート養生による湿潤養生)	施工者希望型(契約後提案)	5	那覇港(新港ふ頭地区)岸壁(-15.0m)(改良)ケーソン工事	沖縄総合事務局	(従来技術:散水・シート養生による湿潤養生)	施工者希望型(契約後提案)	6	平成28年度恩納南BP1工区改築(その3)工事	沖縄総合事務局	(従来技術:散水・シート養生による湿潤養生)	施工者希望型(契約後提案)	7	平成28年度恩納南BP1工区橋梁上部工事	沖縄総合事務局	(従来技術:被膜性養生材)	施工者希望型(契約後提案)	8	平成28年度 下田港防波堤築造工事	中部地方整備局	(従来技術:散水・養生シートによる湿潤養生)	施工者希望型(契約後提案)	9	境港外港竹内南地区岸壁(-10m)築造工事(その2)	中国地方整備局	(従来技術:散水及び養生マット)	施工者希望型(契約後提案)
	1	平成28年度 津松区港津地区(阿瀬浦・御殿場)1-1工区堤防(改良)本体工事	中部地方整備局	(従来技術:散水・シート養生による湿潤養生)	施工者希望型(契約後提案)																																														
2	境港外港中野地区岸壁(-12m)築造工事	中国地方整備局	(従来技術:コンクリート養生マット(散水湿潤養生))	施工者希望型(契約後提案)																																															
3	那覇港(新港ふ頭地区)岸壁(-13.0m)築造工事	沖縄総合事務局	(従来技術:散水・シート養生による湿潤養生)	施工者希望型(契約後提案)																																															
4	那覇港(新港ふ頭地区)防波堤(新港第一)(改良)築造工事	沖縄総合事務局	(従来技術:散水・シート養生による湿潤養生)	施工者希望型(契約後提案)																																															
5	那覇港(新港ふ頭地区)岸壁(-15.0m)(改良)ケーソン工事	沖縄総合事務局	(従来技術:散水・シート養生による湿潤養生)	施工者希望型(契約後提案)																																															
6	平成28年度恩納南BP1工区改築(その3)工事	沖縄総合事務局	(従来技術:散水・シート養生による湿潤養生)	施工者希望型(契約後提案)																																															
7	平成28年度恩納南BP1工区橋梁上部工事	沖縄総合事務局	(従来技術:被膜性養生材)	施工者希望型(契約後提案)																																															
8	平成28年度 下田港防波堤築造工事	中部地方整備局	(従来技術:散水・養生シートによる湿潤養生)	施工者希望型(契約後提案)																																															
9	境港外港竹内南地区岸壁(-10m)築造工事(その2)	中国地方整備局	(従来技術:散水及び養生マット)	施工者希望型(契約後提案)																																															
参考	ケース番号および年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9											項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)																													
活用効果調査結果	施工時評価	項目	H30	H30	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29																																								
		経済性	A	A	B	B	B	B	B	B	B												B	C																											
		工程	A	C	B	A	B	C	C	A	B													B	C																										
		品質・出来形	A	A	B	B	B	B	B	B	B													B	C																										
		安全性	A	B	A	A	A	C	C	C	C														B	C																									
		施工性	A	A	B	B	B	B	B	B	B														B	C																									
		環境	B	B	B	B	C	C	A	B	C														B	C																									
総合評価点	A	B	B	B	B	B	B	B	B	C													B	C																											
今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか (H28.4月以降の活用効果調査表11件にて判定)	今後もしも是非活用したい	活用を検討したい		場合によっては活用することもある		技術の取組を強く望む		各項目における判定																																											
	68%	33%		11%		0%		<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>従来技術より優れる</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>従来技術より優れる</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>従来技術と同等</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>従来技術より劣る</td> </tr> </table>														A	従来技術より優れる	B	従来技術より優れる	C	従来技術と同等	D	従来技術より劣る																						
A	従来技術より優れる																																																		
B	従来技術より優れる																																																		
C	従来技術と同等																																																		
D	従来技術より劣る																																																		
追跡調査の必要性	無し																																																		
追跡調査																																																			

